

地域魅力開発の担い手創出事業 大学連携型フィールドプログラム②（廃炉・農業分野等_北海道大）

イノベ構想の現在を知り地域住民の方とのワークショップを通じて「イノベ地域での学びの成果」をわかりやすく発信するためのプログラムの2回目を実施しました。（3回実施予定）

今回は「廃炉・ドローン分野」をテーマに、北海道大学の学生等が、富岡町のJAEA廃炉環境国際共同研究センター（CLADS）で廃炉の現状について技術的なレクチャーを受けたうえで、大熊町・浪江町の各農業関連の方との交流や、地域の活動（浪江町・双葉町）に触れ、学びや対話の成果としてワークショップで住民の方と小冊子（ZINE）を制作しました。

日 時

令和8年9月9日（水）～11日（金）

参加者

北海道大学 計10名
科学技術コミュニケーション関連の学生等

場 所

富岡町（CLADS）、大熊町（中間貯蔵情報センター・Fun Eat Makers in Okuma・ReFruits等）、浪江町（ランドビルドファーム等）

講師や対話先

委託先：一般社団法人双葉郡地域観光研究協会
ご対応者：
JAEA 廃炉環境国際共同研究センター
伝承館はじめ各視察先の皆様
大熊町企画調整課川口様・鈴木様、
他双葉町・浪江町の皆様



廃炉環境国際共同研究センター（CLADS）でのレクチャー



Fun Eat Makers
in Okuma での見学



あまの川農園での有機農業の見学